

時の視点

東京都製紙原料協同組合

第54回 通常総会 開催

日時：5月24日(月)午後4時～
 会場：上野精養軒 3階「桐の間」
 司会 赤染 清康 常任理事
 開会の辞 松井 隆宏 副理事長
 議長 清水 弘允 副理事長
 閉会の辞 皆川 昇 前理事長



去る5月24日(月)、東京都製紙原料協同組合第54回通常総会及び第48回永年勤続従業員表彰式が開催されました。

当日は、初夏を思わせるほどの爽やかな日差しが差し込む天候となりました。会場は、木立も一層緑色を増した上野公園内精養軒で行われ、多数のご来賓、業界新聞社の方々のご出席くださりました。

一昨年末から始まった同時世界不況は、古紙業界も巻き込んだ大変厳しいものとなりました。製紙会社の大幅減産、印刷出版業界の落ち込み、中国を中心とした輸出価格の下落など、広範囲に及ぶ不況が進行しました。ここきて、ようやく明るい兆しが見えてきました。

今後も製紙原料としての古紙の存在価値は、い

ささかも揺らぐ物ではありません。地球環境に配慮したりサイクル社会到来の中、古紙業界は更にその存在意識が増していくことを確信しております。

古紙価格に関しては苦しい1年でありました。産業古紙の発生が景気を反映して落ち込んだ中、家庭紙向け古紙の価格は一昨年後半から大幅に下落し、そのまま1年を通じて反転しませんでした。他の古紙が反転している中、価格的な優位性がなくなり選別費用も出ない状況であります。

今年度も関連する国内製紙メーカーとは定期的に情報交換の場を設け、また関連業界である製本業界、印刷業界およびリサイクル業界とも定期的な交流を続けていきたいと思っております。

理事長挨拶

東京都製紙原料協同組合

理事長 近藤 勝



本日は大変お忙しい中、第54回通常総会に大勢の組合員の皆様にご出席を頂きまして有難うございます。昨年、総会が開催された頃は新型インフルエンザの影響で大変な騒ぎとなっておりますが、今年は口蹄疫によって宮崎県が非常事態となっております。政治・経済の面でも次々と大きな変化が起こっており、本年は国民読書年ということで年初から期待をしていたのですが、電子書

籍元年が重なってしまうという我々にとって皮肉な年となりました。今後、どのような変化が起きるのか、本当に先の読めない時代に入っております。

そういった中でありますが、今年の組合活動は主に全原連が進めている「古紙商品化適格事業所」更新の為に必要な「リサイクルアドバイザー」や「東京都廃棄物再生事業者登録」の講習会を開催したこと、そして引き続き多くの関連団体と定期会合を持ち情報交換を深める事に努めて参りました。結果、多くの新しい情報を組合員に発信し、多くの行事を通して組合員同士の交流を深める事が出来たと思います。

日本の紙の消費量は2006年をピークに減少し始め、古紙の回収量もその翌年から減少し続けています。今後の問題としては電子ブック等によるペーパーレス化がどこまで進むのか、得意先の印刷、製本業界が縮小傾向にあるなかでの過当競争、我々の業界再編というものがやってくるのか、いずれにしても今、我々ができる事は常に高品質の古紙を作り、それにふさわしい安定した対価を頂く努力をする事だと考えます。先般、全原連の需給委員会ではヨーロッパ古紙会議に出席し、日本の高品質の古紙をアピールし状況を説明したと聞いておりますが、正にこれからの業界が国際的にも連携し合う時代がすぐそこにやってくるような気がします。

今年度、組合員数221社のスタートとなりました。これからも様々な角度から情報を収集し組合員の指針になるような組合作りに努めて行きたいと思っております。皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

議案審議

〔組合員総数221名中 本人出席50名、
委任状提出者99名、議決権有総数149名〕

- 第1号議案 平成21年度事業報告書承認の件
(坂田 事業部部長)
- 第2号議案 平成21年度財産目録、貸借対照および損益計算書承認の件
(高橋 会計理事)
- 第3号議案 平成21年度剰余金処分案承認の件
(高橋 会計理事)
- 監査報告 (朝倉 監事)
- 第4号議案 平成22年度事業計画案決定の件
(山口 事業部副部長)
- 第5号議案 平成22年度における収支予算ならびに経費の賦課及び徴収方法決定の件 (高橋 会計理事)
- 第6号議案 平成22年度における借入金額の最高限度額決定の件 (高橋 会計理事)
- 第7号議案 平成22年度における加入手数料額決定の件 (高橋 会計理事)
- 第8号議案 役員報酬の件
(清水 議長より)

以上、第1号議案から第8号議案はすべて原案通り可決されました。



司会 赤染常任理事



松井副理事長



皆川前理事長

最後は皆川前理事長が閉会の挨拶をされて通常総会は滞りなく終了致しました。

第48回 永年勤続従業員表彰式

午後5時～

通常総会終了後、引続き行われた従業員表彰式には多数のご来賓の方々ご参加くださいました。

開会の挨拶を高山総務部長がされたあと、上田常任理事の司会で本日表彰式に出席された被表彰従業員5名の方々に、近藤理事長から表彰状と記念品が贈呈されました。

司 会 上田 常任理事
開会の辞 高山 総務部長
閉会の辞 赤松 常任理事

ご 来 賓 (出席者)

- 衆議院議員 当組合顧問
松原 仁 様

- 衆議院議員
田中 美絵子 様
- 前東京都議会自由民主党 幹事長
高島 直樹 様
- 経済産業省 製造産業局
紙業生活文化用品課 課長
進藤 秀夫 様
- 経済産業省 製造産業局
紙業生活文化用品課 課長補佐
船橋 善啓 様
- 経済産業省 製造産業局
紙業生活文化用品課 古紙係 係長
佐々木 一成 様
- (財)古紙再生促進センター 常務理事
中村 好伸 様
- (財)古紙再生促進センター 理事長付
木村 重則 様
- (財)古紙再生促進センター 事務部長
白井 俊市 様
- 関東製紙原料直納商工組合 副理事長
大久保 信隆 様
- (社)東京都リサイクル事業協会 会長
上田 雄健 様
- 東京都資源回収事業協同組合 理事長
吉川 太郎 様
- 東京都印刷工業組合 専務理事
武石 三平 様
- (株)商工組合中央金庫上野支店 支店長
山田 幹人 様
- 東京都中小企業団体中央会 主査
鴨志田 弘行 様
- 東京返本加工協同組合 理事長
工藤 裕樹 様
- 東京返本加工協同組合 専務理事
稲生 正俊 様

- 東京返本加工協同組合 総括部長
深澤 進 様
- 東京都製紙原料協同組合 顧問
富澤 一郎 様
- 東京都製紙原料協同組合 相談役
野村 宮三郎 様
- 東京都製紙原料協同組合 相談役
檜原 邦明 様
- 東京都製紙原料協同組合 相談役
坂田 秀一郎 様
- 大同生命保険(株)上野支社 課長
井上 貴裕 様
- あいおい損害保険(株)東京北支大泉店支社長
山村 勉 様
- (株)ウイルプロモート 社長
近藤 靖俊 様
- 杉山会計事務所 所長
杉山 靖彦 様
- 納土社会保険労務士事務所
納土 祥滋 様



司会 上田常任理事

表彰従業員氏名

- 男性 ◆ 女性 (順不同、敬称略)

[勤続 20 年以上] *今回は該当者なし

[勤続 15 年以上] 6 名

- 中野 俊也 [三弘紙業(株)]
- 関谷 宏 [三弘紙業(株)]
- ◆ 三ッ岡 晴美 [三弘紙業(株)]

- 岩田 圭生 [三弘紙業(株)]
- 田口 啓一 [美濃紙業(株)]
- ◆ 原田 周子 [(株)共益・商会]
- [勤続 10 年以上] 6 名
- 市川 憲雄 [グリーンロジテック(株)]
- 染谷 智 [美濃紙業(株)]
- 八巻 光臣 [美濃紙業(株)]
- 中山 健司 [美濃紙業(株)]
- 近藤 昌仁 [美濃紙業(株)]
- 荒川 一 [有)山口商店]
- [勤続 5 年以上] 16 名
- 鈴木 学 [グリーンロジテック(株)]
- 長辺 賢治 [グリーンロジテック(株)]
- 近藤 英彰 [美濃紙業(株)]
- ◆ 山崎 貴美子 [美濃紙業(株)]
- 松石 裕 [美濃紙業(株)]
- 安藤 隆一 [美濃紙業(株)]
- 河須崎 健 [美濃紙業(株)]
- 松尾 正男 [美濃紙業(株)]
- ◆ 加納 清子 [美濃紙業(株)]
- 高橋 充 [美濃紙業(株)]
- 柏木 好美 [(株)共益・商会]
- 梅田 操 [(株)共益・商会]
- 佐々木 昭 [(有)坂田亮作商店]
- 坪井 正弘 [(有)坂田亮作商店]
- 花岡 和男 [大洋紙原(有)]
- 小林 新一 [(株)工藤商店]

以上 28 名 (女性 4)



高山総務部長

第48回

永年勤続表彰 理事長挨拶

本日は第48回永年勤続表彰式に衆議院議員の田中美絵子先生を初め経済産業省様、東京都中小企業団体中央会様、財団法人古紙再生促進センターの皆様方、そして大勢のご来賓の皆様にお忙しい中、ご出席賜りまして誠に有難うございます。

大勢のご来賓の前で、今年度は28名の従業員の方々の表彰式ができますことは組合員一堂、この上ない喜びであります。一口に永年勤続と申しましても、会社勤務とは常に楽しい時ばかりではなく、辛いことや、やめようと思った事も多々あったに違いありません。それを乗り越えての表彰であり心からお祝い申し上げます。

日本の紙の消費量は2006年をピークに減少に転じました。今後、紙の電子化を通してペーパーレスがどこまで進むのか非常に不透明であります。この厳しい状況乗り越えてゆく為に、社員の皆さんにはより効率的な作業の追求、より選別された高品質の古紙を作ること、そしてコンプライアンスをしっかりと遵守するという事など多くのことが求められております。永年勤続表彰された皆さんにはその多年にわたる経験を通して培ってきた力を今後も十分に発揮し、後輩の指導にも注力して頂きたいと思っております。そして今後もあらゆる面で会社を支える力になって頂く事を心から期待しているところでございます。

最後になりますが、本日は表彰されます28名の皆さんの益々のご活躍と会社のご発展を祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。本日は有難うございました。



来賓ご祝辞



□ 衆議院議員 当組合顧問

松原 仁 様



□ 衆議院議員

田中 美絵子 様



□ 経済産業省製造産業局

紙業生活文化用品課 課長

進藤 秀夫 様



*被表彰者を代表して（株）共益・商会 原田周子様より謝辞をいただきました。



表彰者全員

大同生命保険（株） 齋藤繁子様に対し 感謝状の交付

今回は永年勤続従業員表彰式の後、長年、当組合の団体生命共済保険事業の運営にご尽力くださり多大な貢献をされました大同生命保険（株）の認定保険士 齋藤繁子様に対しまして東京都製紙原料協同組合近藤理事長から感謝状と記念品の贈呈がありました。



認定保険士 齋藤 繁子 様



閉会の辞 赤松常任理事

祝賀懇親会 午後6時～

引き続き午後6時より2階藤の間で祝賀懇親会が行われました。司会者の久保田常任理事の開宴の辞に続き、来賓を代表して前東京都議会自由民主党幹事長 高島直樹様、（財）古紙再生促進センター常務理事 中村好伸様、関東商組副理事長 大久保信隆様のご祝辞をいただき、司会者より他のご来賓の紹介の後、（社）東京都リサイクル事業協会会長 上田雄健様に乾杯の音頭をとっていただき宴が開かれました。

また、同じ上野精養軒で総会を行っていた組合青年部の皆さんも加わって賑やかな祝賀会となりました。

最後に、宮崎常任理事の中締め、閉宴の辞と三本締めで終了となりました。総会から出席頂いた組合員の皆様にはお疲れ様でした。

また、都合がつかず来られませんでした、株式会社商工組合中央金庫 代表取締役社長 岡哲夫

様、組合事業でお世話になっている大同生命保険株式会社 上野支社長 石川浩一様よりご祝電を頂戴いたしました。また、全ての式典が無事終了しましたことを心より御礼申し上げます。

司会 久保田 常任理事
中締め 宮崎 常任理事

来賓ご祝辞

- 前東京都議会自由民主党 幹事長
高島 直樹 様
- (財)古紙再生促進センター 常務理事
中村 好伸様
- 関東製紙原料直納商工組合 副理事長
大久保 信隆 様

乾杯のご発声

- (社)東京都リサイクル事業協会 会長
上田 雄健 様



前東京都議会自由民主党 幹事長
高島 直樹 様



(財)古紙再生促進センター 常務理事
中村 好伸 様



関東製紙原料直納商工組合 副理事長
大久保 信隆 様



(社)東京都リサイクル事業協会 会長
上田 雄健 様



司会 久保田常任理事





閉会の辞 宮崎常任理事

青年部総会開催

青年部幹事長 廣田 圭吾

去る5月24日に平成22年度青年部総会が開催されました。当日、各議案が審議のうえ、無事承認されたことを御報告します。

尚、来賓として松井副理事長、宮崎集荷部長、工藤名誉相談役に御出席頂きました。お忙しい中、祝辞まで戴き、誠にありがとうございました。

さて、幹事長役も2期4年目となりました。本部理事をはじめとする諸先輩の暖かい御支援は

もちろんのこと、青年部各部員からも日頃から熱心な意見、真摯な協力を受け、活発な活動や豊かな人間関係を構築することができました。来期にはより良い形で後任に引継ぎできるように、残り1年を今までの活動の集大成とすべく、新しい事案にも積極的に取り組む所存です。よろしく願い致します。

第52回 清風会ゴルフコンペ開催

荒川支部 廣田 圭吾

4月8日。桜が咲いてから冷え込みが続いていたものの、晴天に恵まれたうえ、予報より暖かい朝となり、阿見ゴルフクラブへと向かいました。

常磐道三郷JCTから1時間で到着です。最寄りの阿見ICからも5分足らずの便利さ。ただ、IC出口に直結するように阿見プレミアムアウトレットが。週末の帰りは多少の混雑の覚悟が必要かも。

コースも素晴らしい。今回の幹事役の坂田智さんが「以前使ったら、とても良かったので選んでみた」とおっしゃっていましたが、納得のコースです。

が、自分には、その素晴らしいコースに見合った腕は相変わらず備わってなく、今年初めてのゴルフなのに、年度末前後の忙しさにかまけて練習もせず、年明け初めてクラブを握る始末。御一緒させて頂くのは近藤理事長に工藤裕樹社長、前コスモリサイクル社長菊池さんです。優しい諸先輩方とはいえ、少々緊張気味にスタートとなりました。

緊張のティーショット。ぼちぼち真っすぐ飛びましたあ。セカンドのアイアンもとりあえずグリーン方向へ。パー4で珍しく3オン。寄せて甘めのOKを戴きボギースタート。「こりゃいけるかも…でもいつもこんな感じで立ち上がってる

ような…」そうです。力まず様子見のスタートホールはいいんですよ、いつも。「よーし今日はいっちょやってやるかあ」なんて考えてドライバーを握りしめたら最後。右に「ド」スライスして消えていく魔球を連発。たまに真っすぐとんでもFWを力んでチョロ。こいつはマジ悲しいっす。あとよくやるのが残り80ヤードでPWを手打ちして40ヤードしか飛ばず、次に軽く打ったらあらあら芯食ってナイスショット。80ヤード飛ばしてキャディさんに「あんたなにやってんの！」と怒声を戴く…。はい。今日も全部やりました。ひとつ残らず。めでたくブービー賞を戴きました。優勝は増田会長。ハンデキャップ3をものともしない圧巻のゴルフでした。2位には清水副理事長、3位には工藤房太郎社長です。お三方とも厳しいハンデにも関わらず、上位を占め、近藤理事長の「若手も頑張らないと」の言葉には身にしみました。練習します。

さて、一緒に廻らせて頂いた前コスモリサイクル社長菊池さん。自分が組合活動のお手伝いをするようになってからというものの、ことあるごとに暖かい言葉で御指導御鞭撻頂いて参りました。穏やかな人柄には若手からの人望も厚く、酒席で酔って陽気な姿には親しみさえ感じました。組合活動からは離れますが、「理事OBが参加してこそその清風会」ですから（笑）、今後ともよろしくお願いいたします。



成績は次の通りです。

優勝 増田 唯之 (株) 増田商店
準優勝 清水 弘允 グリーンロジテック (株)
3位 工藤 房太郎 (株) 起多邑

支部便り

千代田支部総会開催

千代田支部長 近藤 正彦

去る4月5日(月) (株)庄司さんの部屋をお借りして総会を開きました。

もとより13名の支部員なので、役員の変更もなく和気あいあいのうちに終了しました。今年は久しぶりに懇親会を行います。(6月19日)

また昨年、屋形船も好評だったので、社員の方々も参加してもらい、普段なかなか顔を合わせない人達と、盛大に宴を開く予定です。乞うご期待を。

文京支部総会を開催

文京支部長 山田 祐康

去る4月11日(日) 文京支部の総会を開催しました。文京支部は人事のない年を旅行総会と決めています。



今回は山梨県の石和温泉にて、日曜から月曜にかけて宿泊して来ました。車組を除き新宿駅から

JRでゆっくり途中の車窓を楽しみ、早めにホテルに着いて、ゆっくり温泉につかりました。

総会では平成21年度の事業報告及び決算報告と平成22年度の事業計画及び予算案を型どおり承認して、あとは宴会となりました。

支部会に出席するメンバーが固定する傾向にあり残念ですが、いつもの都内での支部会とは雰囲気も、ガラッとかわりいつも以上に話に花が咲き、お酒がすすみました。

向こう1年、山田支部長、人見副支部長の続投です。よろしくお祈りします。

台東支部総会

台東支部 **近藤 昌和**

平成22年5月12日(水)に台東支部総会を、上野の「焼肉大昌苑」で10名の出席で開催いたしました。

私の司会で始まり、議長は高山昭二郎支部長に決まりまして、近藤清司さんに議案の提出をして頂き、出席者の熱心な審議により、各議案は無事承認され、総会を滞りなく終えることができました。

引き続き、野村宮三郎さんの乾杯のご発声により、懇親会に入りました。

食べきれないほどの料理と飲み放題という事で、みんなアルコールもまわり賑やかに大変盛り上がり、2時間があっという間に過ぎてしまいました。

閉会は、近藤國宏さんの挨拶と景気よく三本締めで手締めを行い、大盛況の中お開きとなりました。

荒川支部 第63回総会開催

荒川支部長 **久保田 貞行**

平成22年4月11日(日)、荒川支部総会を上野梅川亭に於きまして開催致し、19名が出席

致しました。今年は寒い日が続き、開花が遅れたにも関わらず、当日は天気にも恵まれ、花見日和でした。丁度お昼時で、上野公園内は沢山の人が出で賑わいでした。

総会は全議案が滞りなく承認され、大久保社長の閉会のご挨拶にて無事終了いたしました。

その後の懇親会では栗原全原連理事長からご祝辞を頂き、荒川紙料十日会会長上村様の乾杯のご発声で宴会が始まりおいしいお料理、お酒を頂きながら約2時間皆さん和気あいあいと、過ごしました。

閉会の言葉を若手代表の和幸紙業(株)宮内啓悟さんをお願い致しましてお開きとなりました。



足立支部 総会を開催

足立支部長 **赤松 源裕**

足立支部総会は、2年ぶりにゴルフコンペをかねて、鬼怒川温泉「あさや」で4月25日(日)、26日(月)と1泊2日の日程で行いました。「あさや」での総会は、なんと総数4名と云う今までの総会の中でも最低の参加人数で、2年前の総会では倍の参加人数があったのに今回は残念でした。

今思えば、リーマンショックが起こる4ヶ月前で、古紙の単価もまわりの景気も絶好調の時に、こんな景気が続くとは思っていませんでしたが、まさか2年でこんなになるとは。ホントにトホホの総会でした。

しかし翌日のゴルフは天候にも大変恵まれ、温泉から車で20分位の随縁カントリークラブ鬼怒川森林コースで、ゴルフは楽しくプレー出来て最高でした。

今回は2組6名で、新ペリア方式で競い合い1位・増田唯之氏、2位・近藤行輝氏と実力通りの成績でありました。

次回の足立支部総会の時は、景気が良くなり、多数の参加がある様に願っています。



山手支部総会を開催

山手支部庶務 **徳永 裕司**

山手支部では、去る4月17日(土)「やなぎ鮎」にて平成21年度の総会を開催しました。

当日は10名の支部員が出席され(他委任状八名)、下記議案について審議いたしました。

議案

- 第1号議案 平成21年度事業報告の件
- 第2号議案 平成21年度決算報告の件及び監査報告
- 第3号議案 平成22年度予算案承認の件
- 第4号議案 金融部会計報告承認の件及び監査報告
- 第5号議案 評議員改選の件 その他

事業報告においては、昨年の支部の活動実績が報告されました。昨年は山手支部家族慰安会、忘年会、合同新年会他、日ごろの支部活動が報告されました。決算報告予算の承認におきましては、支部運営の基幹ともなる案件につき、皆様より活発なご意見並びにご提案をいただき、無事承認の運

びとなりました。これにより、新年度におきまして山手支部研修旅行会を9月に開催する予定であります。引き続き金融部の会計及び監査が報告され、最後に新評議員の北村忠、土屋寿春、篠田正義、鈴木宣明の各氏が選出され、総会を終了しました。

本年度も山手支部員の皆様、支部会並びに、支部行事に大勢の参加をお待ち申し上げております。



城南支部総会

城南支部長 **坂田 智**

平成22年5月22日 田町 牡丹

この時期恒例の総会シーズンがやってきました。

我が城南支部も、22日の土曜日に田町の牡丹で開催されました。

ご来賓には、清水副理事長と大同生命の井上課長と小川さんにご出席頂きました。

総会では、第1号議案から第4号議案までを、慎重審議のなか、スムーズに進み、議長の大役を支部長の坂田が終了し総会を終えました。

閉会の前に大同生命の課長さんよりご挨拶を頂き、閉会となりました。

第2部の懇親会では、支部長の挨拶のあと清水副理事長による乾杯を兼ねたご祝辞を頂きました。その後牡丹の4人の綺麗どころに入って頂き宴会も徐々に盛り上がってきました。我が城南支部も産業古紙を主力に扱っている会社が多く、

相当厳しくなっています。これから先も紙離れが進んでいくことが予想されますが、支部のみなさんの英知を終結して、頑張りたいと思います。でも今日の楽しい日は、普段の嫌なことも忘れて皆さん笑顔でお酒を酌み交わしていました。

最後に坂田秀一郎前副理事長に中締めを、ご挨拶を兼ねてお願いしました。

今後ともこの業界が、皆さんと共に力を合わせてより良い業界になるように頑張っていきましょう。

江墨支部総会

江墨支部長 **松井 隆宏**

4月20日(火)吉野すしにて総会を行いました。ゲストに集荷部の宮崎部長を招待し、支部員14名、コンパニオン4名で賑やかに行いました。

城北支部 第35回総会開催

城北支部 **両角 康彦**

平成22年4月9日(金)、池袋トウキョウビル6階の「新和食 隠れ房」において、城北支部第35回総会を開催しました。

竹内義人理事司会の下、定足数に達していることを確認。黒田義孝城北支部支部長の主催者挨拶、続いて同支部長が議長に選出され、総会に入りました。

第1号議案 平成21年度事業報告 皆川昇理事

第2号議案 平成21年度収支決算報告 辻忠敏理事

第3号議案 監査報告 船戸武男監査役

第4号議案 平成21年度余剰金処分 辻忠敏理事

以上、全議案つつがなく承認され議長退場となりました。そして、竹内義人理事の閉会の辞となり、城北支部第35回総会を無事終えることができました。

総会終了後、僭越ながら私の司会の下、宏文

社乗附様の乾杯のご発声を合図に懇親会となりました。

ご来賓として、あいおい損保株式会社下方様、株式会社ウィル・プロモート近藤社長、同保険部部長宮内様、大同生命保険株式会社上野支社井上様、同齋藤様、戸辺様をお迎えし、いくつかの会員各社の社員さんも参加され、酒が入るにつれ、十年來の友のように打ち解け合った素晴らしい懇親会となりました。

「新和食 隠れ房」さんの美味しい創作和食も絶妙のタイミングで配膳され、一つ一つを十分に味わいながら堪能することができました。

いつしか池袋の夜も更け、厳しい経済環境ながら、お互いに明日へのパワーを十分に補充し、工藤商店島田様の中締めの後お開きとなりました。

拙い私の司会の中、ご参加いただいた皆様、本当に有難うございました。



組合員の広場

チェコを旅行して

(全原連需給委員会研修旅行から)

広報部部長 **清水 弘允**

全原連の世界古紙会議出席のため、先日、ドイツに行ったついでにチェコに寄ってきました。世界古紙会議に関しては報告書が別に出ますのでそ

ちらにお任せして、今日はチェコを訪問してガイドさんから聞いた事を、裏話を含め、お話ししたいと思います。観光地としてはプラハと日本人観光客なら必ず行くと言うチェスキークルムロフを訪問しましたが、これは誰が話しても同じなので省略。

チェコは1918年オーストリアハンガリー帝国の崩壊に伴いチェコスロバキア共和国となり、第2次世界大戦後には共産陣営に組み込まれました。それが1989年には共産党支配が崩壊し資本主義国になりました。同じ国であってもチェコとスロバキアは歴史的に別の道を歩いて来ましたし、チェコは工業国であったのに対しスロバキアは農業国でしたので、次第に経済格差が生じてしまい色々と不協和音が生じ、1993年にチェコとスロバキアに分れました。協議離婚みたいなもので両国は今でも非常に良好な関係を維持しています。チェコ人はビールをよく飲むのに対し、スロバキア人はワインをよく飲みます。共にスラブ系民族ですが、かなり民族的特徴は違うようです。チェコ人は、その気質から東欧のドイツ人とも言われ勤勉な国民ですが、一般に穏やかな性格の人が多いそうです。

バスで移動中に車窓から外を見ると、黄色い菜の花畑が延々と続き、とてもきれいでした。ガイドさんに聞いてみるとバイオ燃料として育てているそうです。ケシの花も咲いていましたが、これは怪しい目的ではなく実を食べるそうです。酪農製品は豊富で牛、豚、鳥の肉を中心に食べています。ただ油はラードが中心で植物油ではないので健康には良くないようです。野菜はほとんど食べないのでスーパーでもあまり売っていない。酢キャベツ程度しか食べないそうです。

共産主義時代は女性を男性と同様の労働力と見做していたので、夫婦共稼ぎは当たり前でした。それだけ女性が経済的に自立している事もあり、

家で一番えばっているのは妻とされています。大人しいのは夫、子供、犬だと揶揄されるくらいで、離婚率は54%と高いそうです。現在は第三次ベビーブームだそうです。共稼ぎなので朝食、夕食ともに極めて簡単な食事で基本的に火を使った料理をしません。パンとハム程度で済ましてしまい、昼食も会社で蒸しパンの一種クネドルキと豚肉を食べる程度です。

共産主義時代からの習慣で基本的に残業はしないので、夫は定時に帰宅し簡単な夕食後、ほぼ毎日、居酒屋にお出ましになる。どんな田舎でも居酒屋はあって、お客ごとの席が決まっているほどに頻繁に男は通っている。

初任給は中卒で工場労働者が5万円、大卒が8万円程度、低賃金とは思われないが、実はその後の昇進が少なく12万円から13万円で頭打ちとなるので、決して高い賃金ではない。



共産主義時代の延長で、共稼ぎ夫婦のために保育園が充実しているし、公立学校は無料。健康保険料を給料の10%払っていて病気になっても治療はすべて無料。しかし必ずしもいい事ではなく病院は無料なので医者にサービスと言う発想が育たず治療レベルは低い。資本主義国となってからは、それを嫌ってお金を出せる人は有料でもレベルの高い医療サービスを求め、それに対応した医療ビジネスが次第に増えているそう。そのせい

かどうか知らないが平均寿命は男 69 歳、女 76 歳と短い。ご多分にもれず大きな政府のため国家財政は苦しいようだ。

チェコ人はプロテスタントのフス派に属しているが、共産主義国であった事が原因の 1 つかも知れないが、きわめて信仰心が低く、教会で結婚式を挙げる人が少ない。一方でスロバキアは信心深く、対照的である。

チェコのビールはドイツ同様に地ビールが色々あるが日本で好まれるピルスナーはチェコが本家である。米国の有力ビール銘柄であるバドワイザーの本家はチェコにあり、その本家でブドヴァルと言うビールを飲んだがおいしかった。チェコのワインは輸出に回すほど生産量が多くないので日本では飲む機会がないが、これもなかなかおいしかった。物価が安いので日本から行くと何でも安く、値段を気にしないで楽しめる。

話は横道にそれるが、チェコでは売春は合法だそう。ただし管理売春が合法でストリートガールは非合法である。なぜなら個人営業では国家が税金を徴収できないからだとか。ドイツ人やオーストリア人の男性は、結婚が決まって独身にお別れする前には、その手の目的でチェコに友達と大挙して来ると言う話だ。ギャンブルも合法。

また 13 歳になると成人と認められるそうで、それならチェコに淫行はないかもしれない？

♪ ことわざミニ知識 ♪

「虎は死して皮を残す」

中国の歐陽脩が出典。「虎は死後も皮となって珍重される。同様に人はその死後に残した名誉や功績で評価される。死後に名誉・功績を残すべきである」ということの喩え。

あまり死後の事ばかり考えてはられないが、あ

まり自己中心で生きるのもほどほどにと言う、処世訓と思っておけばいいのか。

支部スケジュール

千代田支部

- 支部会 7月 6日 (火) 水道橋 茶の家
- 納涼会 8月 28日 (土) 浅草橋・屋形船
- 支部会 9月 6日 (月) 水道橋 茶の家

中央支部

- 支部会 7月 9日 (金) きくち
- 支部会 8月 13日 (金) きくち

文京支部

- 支部会 7月 8日 (木) 大塚すし常本店
- 納涼会 8月 日にち、場所未定

台東支部

- 納涼会 7月 日にち未定
- 支部会 9月 日にち未定・組合会議室

荒川支部

- 支部会 7月 12日 (月) 4丁目会館
- 納涼会 8月 日にち、場所未定

足立支部

- 納涼会 8月 7日 (土) 浅草

山手支部

- 支部会 7月 17日 (土) 鯨やなぎ
- 9月 4日 (土) ~ 5日 (日)
- 研修会・場所未定

城南支部

- 支部会 7月 15日 (木) 大崎第6集会室
- 納涼会 7月 31日 (土) 白金・八芳園

江墨支部

- 納涼会 7月 23日 (金) 吉野すし

城北支部

- 支部会 7月 9日 (金) 中華・東明大飯店
- 納涼会 9月 4日 (土) 屋形船

お 知 息 せ

[7月～9月会議・催事予定]

- 7月 5日(月) 共販輸出検討委員会
 (pm1:30～) 上野・東天紅
 // 常任理事会 (pm2:00～)
 理 事 会 (pm3:30～)
 理事会終了後、清風会の講演会 (pm5:00～)
 納涼会 (pm6:00～)
 上野・東天紅
- 7月26日(月) 古紙センター業務委員会
 (pm13:30)
 // 全原連役員会 (pm2:40～)
- 7月28日(水) 製本工組との古紙関係協議会
 (pm3:00～)
 製本組合会館会議室
- *8月・・・理事会は休会
- 9月 3日(金) 常任理事会 (pm2:30)
 理 事 会 (pm4:00～)
 組合会議室

[古紙価格]

[東資協の古紙4品の標準売値]

- 平成22年6月8日現在
- *新聞 8～10円(横ばい)
 *雑誌 7～8円(横ばい)
 段ボール 8～9円(横ばい)
 色上(並) 7～8円(横ばい)

[古紙品質調査事業] 平成22年4月～6月価格

- [新聞 古紙] 16,000円/トン
 [段ボール古紙] 16,000円/トン

[組合員脱退(平成22年3月末)]

[中央支部]

- (株)喜田村商店(代表者 北村 好延)
 古紙業務撤退

[台東支部]

- (株)大起紙業(代表者 近藤 隆久)
 廃業

[荒川支部]

- 今野商店(代表者 今野 明雄)
 廃業

- 勝村商店(代表者 勝村 靖)
 廃業

- 窪田商店(代表者 窪田 勇)
 廃業

- (株)宮内商店(代表者 宮内 康行)
 廃業

[足立支部]

- 古川商店(代表者 古川 宗次)
 病気治療

[江墨支部]

- 杉山商店(代表者 杉山 修一)
 病気治療

- (有)高山商店(代表者 高山 武男)
 廃業

[城北支部]

- (有)藤田商店(代表者 藤田 義朗)
 一身上の都合

- 古田商店(代表者 古田 仁)
 廃業

[訃 報]

「城南支部」

- (有)鈴木紙業 代表者 鈴木誠一郎様のご尊父
 鈴木七郎様(享年92)が平成22年3月22
 日にご逝去されました。

「江墨支部」

大洋紙原（有） 代表者 大浦勇三様のご令室
大浦紘美様（享年 69）が平成 22 年 5 月 6 日
に逝去されました。

「荒川支部」

白土商店 代表者 白土富子 様のご子息
白土一博様（享年 43）が平成 22 年 5 月 30
日にご逝去されました。

会議概要 [3月・4月・5月]

3 月度定例理事会

[平成 22 年 3 月 3 日（水）] pm4：00～

出席理事 30 名 於）組合会議室

近藤理事長挨拶

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会では製品価格の修正があるのではないかとの話がありました。パルプの価格がリーマンショックの前の状況に戻ったとの明るい情報もあり、組合活動としても古紙の価格問題が明るい方向に進んでいくことを望んでおります。本日も総会をひかえてお忙しい中、本日もよろしく願い致します。

[各部報告]

[総務部] 5 月の総会に向け準備中である。各理事の協力をお願いしたい。

[直納部]

3 月度の共販輸出は 3 社による入札となり落札した。価格は先月と同じく横ばいである。

市況全般：中国はパルプをチリの 5 工場から購入している。地震の影響で今後どうなるか注目している。輸出に関しては中国が強含みで動いている。2 月の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会では、2008 年、2009 年とパルプ価格が戻りつつあるとのこと。3 月から 4 月にかけての家庭紙

製品の価格修正に期待している。家庭紙原料の在庫は潤沢にあり価格修正は今のところ考えられない模様であるとのこと。国内外の古紙原料価格の格差が続いている。

[品目別市況]

[段ボール] 国内の需要は良くない。発生が悪く、スーパー関係は 10%の減である。製品も 2 月に比べ減少している。

中国の輸出は活発な動きを見せている。輸出業者が高い値での買いをしており価格面では先行き不透明な状況である。

[新聞・雑誌] 発生が少なく価格が上昇しており仕入れが難しい状況である。中国の需要は強い。

[台紙] 発生が悪く仕入れに困っている。

[返本] 返本は前年比で 5%ほど落ちている。発生が非常に悪い。出版業界は毎年 2～3%落ちている状況である。

[オフィス古紙] 発生が落ちている。機密書類は、直接、業者に持ち込まれる事が多くあまり出てこない。年度末になるので発生に期待したい。

[集荷部]

先月の静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会において、古紙原料は潤沢にあり価格修正についての変化がないとの確認をした。現在の集荷状況は、集荷業者の犠牲の上に成り立っている。家庭紙が選別賃が捻出できない価格帯では、集荷としては輸出向けの品物に目を向けていくしか対策がとれないのではないかと考えられる。

[広報部]

広報は 3 月号の発送に向け準備中である。現在、4 月～6 月までの支部スケジュールを含めた原稿を集めている最中である。発送は 3 月中旬を予定している。

[事業部]

総会に向け総務部と協力して準備をすすめていきたい。

[青年部]

3月1日に委員会を開催した。製本工組2世との交流会と製紙工場の見学を検討中である。

[近代化推進事業委員会]

経営革新委員会：3月10日（水）古紙リサイクルアドバイザーの最終講習会の案内。

審議事項・・・古紙商品化適格事業所の第1回更新の承認の件 23社27事業所 — 可決

受給委員会：4月28・29日にドイツの世界古紙会議に全原連として参加する予定。

古紙センター業務委員会

[平成22年3月15日（月）] pm2：00～
於）古紙センター会議室

[1] 平成21年度第4回評議委員会、第46回通常理事会の報告

評議委員会、通常理事会の上程事項：

①平成22年度事業計画

②平成22年度収支予算

通常理事会の上程事項： 評議員の一部選任

（新任）関口史彦氏・日本商工会議所産業政策第2部長←（退任）橋本昌道氏・日本商工会議所

報告事項： 公益財団法人認定申請

[2] 平成22年4月～9月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

[3] 古紙の需要・市況動向については、紙面の都合で割愛させていただきます。

全原連 平成22年度 第8回役員会

[平成22年3月15日（月）] pm3：30～
於）古紙センター会議室

理事・監事60名：出席60名

（内、委任出席34名）欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会（3月15日開催）

◎平成21年度第4回評議委員会、第46回通常理事会の報告について

（評議員・通常理事会上程事項・・・承認）

①平成22年度事業計画（第1号議案）

②平成22年度収支予算（第2号議案）

③評議員の一部選任

新任：関口史彦（日本商工会議所産業政策第2部長）

退任：橋本昌道（日本商工会議所）

④公益財団法人認定申請（移行認定申請について冊子150ページ）

◎平成22年4月～9月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

1～3月（前年比）

4～6月（前年比）

7～9月（前年比）

・段ボール：1,639,003t（108.5%）

1,798,006t（102.5%）

1,796,460t（103.0%）

・新聞：1,012,632t（103.6%）

1,001,352t（97.3%）

1,007,323t（98.4%）

・雑誌：546,867t（108.3%）

592,445t（100.7%）

581,557t（98.4%）

◎今後の日程

平成22年4月22日（木）13：30～14：30
業務委員会（センター会議室）

平成22年5月21日（金）13：30～14：30
業務委員会（センター会議室）

(2) 業界 関係

◎経済産業省紙業課関係（報告事項）

①古紙リサイクルシステムを維持するためのヒヤリング（2月5日、2月25日開催）

古紙業界の要望として

- ・在庫能力の拡充（備蓄）の対応
- ・古紙輸出価格低下の場合の対応
- ・古紙卸売業の法制化についての対応
- ・古紙利用によるエネルギー転換するための設備等の対応
- ・「古紙商品化適格事業所」指定登録についての対応

*上記の要望について経済産業省として調査中

(3) 全原連 関係

◎審議事項（役員会上程、承認事項）

①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定について

- ・古紙商品化適格事業所：3月15日（6社、6事業所）累計（405社812事業所）
- ・リサイクルアドバイザー：3月15日（4社、5名）累計（432社、1,972名）

②「古紙商品化適格事業所」第1回更新認定申請について

- ・平成22年2月末申請：402社806事業所
- 平成22年2月末更新：262社496事業所（明細は役員会資料参照）

③平成22年5月役員改選に伴う役員候補者地域別人数割り枠

「関東製紙原料直納商工組合」選出枠1名増の承認を求める件について

- ・全原連、関東商組選出役員1名増員承認（理事18名、監事1名、計19名）

④平田耕一衆議院議員（自民党全国区）推薦について

- ・リサイクルシステム議員懇談会に加入条件として推薦を承認

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会

・「日本古紙品質認定（J-BRAND）制度」運用規則（案）及び運営細則（案）検討

・第1回「古紙商品化適格事業所」更新（上記審議事項②参照）

●需給委員会

・海外視察調査：第13回世界古紙会議（4月28日～29日）参加（ドイツ/デュッセルドルフ）

・2010年古紙需給予測：需給差異379万t（回収量-消費量）予測

●IT推進委員会

・㈱金澤紙業よりHPのリンク要請あり、リンク委員会にて承認

●渉外広報委員会

・来期、優良性評価2事業の広報宣伝（経営革新委員会合同）実施予定

(5) その他

●第33回通常総会及び近代化推進事業各委員会開催の件

日時：平成22年5月27日（木）

場所：びわ湖 旅亭「紅葉」

各委員会：12:00～14:30

総会：15:00～17:00

懇親会：18:00～20:00

古紙センター関東地区委員会

[平成22年3月24日（水）] pm3:30～

於）古紙センター会議室

[需要動向] 2010/2月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の() は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞] 仕入 62,442 (89.8%)

出荷 64,208 (89.9%)

在庫 9,403 (14.6%)

[雑誌]	仕入	45,580 (85.0%)
	出荷	46,137 (79.6%)
	在庫	9,618 (20.8%)
[段ボール]	仕入	114,409 (99.7%)
	出荷	117,901 (99.1%)
	在庫	20,821 (17.7%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	203,021 (98.6%)
	消費	217,665 (103.3%)
	在庫	149,071 (68.5%)
[雑誌]	入荷	98,869 (102.9%)
	消費	108,576 (109.4%)
	在庫	50,934 (46.9%)
[段ボール]	入荷	236,958 (105.5%)
	消費	246,071 (112.2%)
	在庫	124,374 (50.5%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌]

新聞は、前年より本文は増加しているがチラシが減少している。過去5年のデータをみると、年間で本文とチラシの合計で約30キロ減少している。

雑誌は、取次の総量規制が問題になるのではないかと。返本が多いので取り扱い量を規制する内容だが、実施されると返本率は改善されるが雑誌の減少が強くなるのではないかと。

[段ボール]

ダンボールの発生は昨年と同様である。輸出は前年と比べると約40%増加しているが、今年の2月は前年と同様である。段ボールの輸出価格は物が出てないので上昇した。現在は、落ち着いた輸出価格になっているのではないかとと思われる。

[メーカー側コメント]

新聞は、2月の発生が悪かった。3月に入っても発生は悪く、輸出も多くなってきている。在庫に関しては問題ない。

段ボールは前年と比べると2月は104%、3月は103%～105%。1昨年と比べると回復してきている感じである。

家電関係は前年と比べると114%と増加。メーカー各社は2月～3月は減産。全体的に在庫は高水準で推移している。生産が少ないが消費も少ない現状である。

4月度定例理事会

[平成22年4月2日(金)] pm4:00～

出席理事 30名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

このところ世界経済に対する期待感から資源高、円安となってきていますが、古紙の国内価格も全品ではありませんが上昇となりました。我々の業界もリーマンショックから約1年半たって、どん底から抜け出した感じがします。大変厳しい時期が長く続きましたが、組合員同士が色々な情報交換をしてお互いを支えながら、この時期を乗り越えたと言ってもいいかもしれません。

先日、子供たちのゆとり教育が良くないということで見直され、教科書が25%増えるというニュースがありました。教科書が増えれば参考書やテストも増えるので、我々にとってはいいニュースであると思います。

古紙商品化適格事業所の更新に関しましては、72社82事業者中、29社34事業所が更新を致しました。まだ資格取得中の事業所も数社ありますが、更新猶予時期までに少しでも多く更新できる事を望みます。あと2ヶ月後には総会も控えておりますが本日もよろしくお願い致します。

【各部報告】

【総務部】 5月の総会に向け準備中である。

【直納部】

4月度の共販輸出は2社による入札となり落札した。輸出先はフィリピン向けで価格は前月と比べると1円50銭の上昇。前回の輸出の際、糊が原因となる品質基準のクレームがあった。今回は、業者ヤードにて品質のチェックをして対応する。市況全般：中国国内にて洋紙の販売が順調とのことで、上物の古紙需要が旺盛である。価格的には上昇基調であるが品質要求が厳しく、白物（ノーコート）の印刷面の少ないものを求めている。輸出は2月、3月と回復基調。4月に入り弱含みの予想。5月の連休明けに回復してくるのではないかと思われる。国内では4月1日に新聞、雑誌と2円の値上げとなり家庭紙もつれて2円の上昇。

【品目別市況】

【家庭紙】 発生は良くない。輸出は不安定な価格の動きである。

【段ボール】 段ボールについては、アメリカは最盛期から比べると60ドルほど下がっており、為替レートも上がっている。各商社とも売買差益を広げている。3月後半はコンテナ不足でフレートも上がっている。4月は弱含みで5月は徐々に上昇するのではないかと思われる。

中国の輸出は活発な動きを見せている。輸出業者が高い値での買いをしており価格面では先行き不透明な状況である。

【新聞・雑誌】 発生が悪く輸出に出す量に限度がある。仕入れ競争が強くなってきており、新聞は値上げ後も採算がとれてこない。

【台紙】 新聞、雑誌の価格修正により各メーカーとも2円～3円の価格上昇があった。発生は減少している。

【返本】 4月1日付けで各品目の2円の値上げとなったが、一部メーカー価格で比較すると回収

雑誌の方が高くなってしまう。発生は昨年対比で90%を切っている。

【集荷部】

発生は3月の前半は多少良かったが、ここにきて又、少なくなってきた。家庭紙は2円の値上げがあったが、まだ集荷業者にとって採算が合う状況にはなっていない。発生が少ないので過当競争にならないよう集荷でフォローしていきたい。

【広報部】

広報は3月号が先日お手元に届いたと思う。5月号は総会号となるので総会終了後の6月中旬に送付予定である。総会の記事が中心となるが他に支部の総会の紹介、スケジュール等を掲載予定である。特に捺染紙によるメーカーのトラブルについての記事を掲載したい。

【事業部】

総会に向け総務部と協力して準備をすすめていく。3月下旬に都庁で異種業界団体との交流会が開催され理事長と参加してきた。名刺交換が主体だったが次回も開催を予定しているので、今度は団体を絞って情報交換をしたい。

【青年部】

6月の組合ゴルフの準備中である。又、5月の組合総会開催日の永年勤続表彰の時間帯に、青年部の総会を開催する。松井副理事長に出席をしてもらう予定である。

【近代化推進事業委員会】

経営革新委員会：

古紙商品化適格事業所の更新を猶予期間である6月までに手続きをしてほしい。

審議事項・・・古紙商品化適格事業所の更新（4月分）の承認の件 6社7事業所 — 可決

受給委員会：海外研修を4月27日～5月4日に実施する。28日と29日にドイツの世界古紙会議に全原連として参加する予定。

古紙センター関東地区委員会

[平成22年4月20日(火)] am10:30～
於) 古紙センター会議室

[需要動向] 2010/3月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	72,332 (93.2%)
	出荷	70,064 (95.6%)
	在庫	11,671 (16.7%)

[雑誌]	仕入	61,930 (88.6%)
	出荷	58,735 (89.7%)
	在庫	12,813 (21.8%)

[段ボール]	仕入	129,820 (96.8%)
	出荷	124,838 (96.6%)
	在庫	25,803 (20.7%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	224,053 (103.3%)
	消費	236,010 (103.5%)
	在庫	137,114 (58.1%)

[雑誌]	入荷	113,779 (113.59%)
	消費	115,631 (108.7%)
	在庫	49,082 (42.4%)

[段ボール]	入荷	257,498 (110.75%)
	消費	274,628 (113.5%)
	在庫	107,244 (39.1%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌]

新聞は、3月発生期のため前月比で19%増加。増えた分、在庫も増加。前年比では増えていない。チラシが前年比93%と減少している。新聞自体は前年比102%と変わっていない。

[段ボール]

ダンボールは前年比96%で入荷後すぐ消費されてしまう。アメリカが値上げしたため、国内は値上げ予想で在庫が増えた。

輸出は順調に推移している。コンテナが不足し動きが大変である。

[メーカー側コメント]

新聞は、3月末では在庫はなんとか持った。4月に入り発生が少ないため入荷が少ないところが多い。段ボールの3月の生産は107%～110%と今までにない生産量であった。電気関係が多少良い傾向にある。古紙の在庫は高めで横ばいしている。

古紙センター業務委員会

[平成22年4月22日(木)] pm1:30～
於) 古紙センター会議室

- [1] 古紙統計分類と主要銘柄の一部改定について
- [2] 集団回収実施団体への感謝状交付(九州地区委員会推薦)について
- [3] 古紙の需要・市況動向については、紙面の都合で割愛させていただきます。

全原連 平成22年度 第1回役員会

[平成22年4月22日(木)] pm2:45～
於) 古紙センター会議室

理事・監事60名：出席60名

(内、委任出席34名) 欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(4月22日開催)

◎古紙の需給・市況動向について

- ・4月価格改定により地域格差(全国统一)の是正が行われた。

◎「古紙統計分類と主要銘柄」の一部改定について

- ・古紙品質規格専門委員会において取引量が比較的が多い「チラシ」を新たに銘柄として新設する(主要銘柄NO.10追加)。よって従来25銘柄が26銘柄となります。

◎集団回収実施団体への感謝状交付について

- ・推薦地区委員会：九州地区委員会（5団体推薦）

◎今後の日程

平成22年5月21日(金)13:30～14:30

業務委員会(センター会議室)

平成22年6月14日(月)13:00～14:00

評議員会(銀座ラフィナート)

14:00～15:00

通常理事会(銀座ラフィナート)

15:00～16:00

業務委員会(銀座ラフィナート)

(2) 業界 関係

- 王子製紙：石田副社長、王子エコマテリアル：岡村社長

①価格改定について

- ・価格についてはメーカーサイドで意識改革をもって対応する。
- ・地域格差については理由はともあれ現状を見据えた上で格差をなくす。
- ・仕入政策として安定価格を維持したい。
(1年位、最低でも6カ月)
- ・国内、国外共価格安定を維持したい。
- ・将来的に輸出割合(国内7：国外3)が変化するため積極的に取り組んでいきたい。

(3) 全原連 関係

◎審議事項(役員会上程、承認事項)

①「古紙商品化適格事業所」

- ・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定について
- ・古紙商品化適格事業所：4月15日(8社、9事業所)累計(410社821事業所)
- ・リサイクルアドバイザー：4月15日(6社、36名)累計(432社、2,010名)

②「古紙商品化適格事業所」第1回更新認定申請について

- ・平成22年2月末申請：403社807事業所
- 平成22年2月末更新：262社501事業所
- 平成22年3月末更新：84社164事業所

③第33回通常総会について

- ・第34期・35期役員候補者推薦について
- ・第33期事業報告及び決算書類について
- ・第34期事業計画(案)及び予算(案)について

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会

①特別委員会「J-BRAND 制定委員会」

(4月21日開催)

- ・「日本古紙品質認定(J-BRAND)制度」運用規則(案)及び運営細則(案)検討

②「安全手帳2010」について

- ・価格改定：販売価格@200、仕入価格@200
- ・各単組で使用分を連絡頂き、全原連事務局より請求書を発行します。なお、4月15日付け請求書は破棄して下さい。

●需給委員会

- ・海外視察調査：第13回世界古紙会議(4月28日～29日)参加(ドイツ/デュッセルドルフ)

(5) その他

5 月度定例理事会

[平成22年5月6日(木)] pm4:00～

出席理事 26名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

中国では今月から上海万博が始まり大変な盛況ぶりであります。国内では沖縄の普天間基地の問題が混沌としており大変な情勢が続いております。我々業界の中では、アイパッド等の電子機器を使った電子書籍等の不安な問題もかかえております。

先日、全原連の需給委員会で行われた海外研修が終わり世界古紙会議に参加した内容の報告も後であると思います。

今月24日には組合の総会がありますが、色々と準備が忙しい中、本日もよろしくお願い致します。

[各部報告]

[総務部] 5月24日の総会があるのでご協力をよろしくお願い致します。

[直納部]

5月度の共販輸出は2社による入札となり、前月より50銭の高値で落札した。輸出先は中国で市況は、中国メーカーの上物需給は引続き旺盛だが労働節、上海万博の影響がどの様にでてくるかは現時点では不透明なので動きを慎重に確認する必要がある。共販輸出で落札価格が市場を大きく上回った場合、少額を備蓄資金にまわし落札価格の低い月に補填できるような制度を検討している。備蓄資金が年度末に余った場合は参加者に分配するような方法にしたい。

市況全般では輸出が連休前の予測では弱含みであったが、連休明けは、ほぼ横ばいで段ボールに関しては上海万博の特需もあり、若干、強含みの状況である。4月に新聞、雑誌と家庭紙の価格修正があったが、洋紙は今後6ヶ月から1年くらいはこのままの状況が続くよう原料の安定供給を望んでいる。6月の静岡県紙業協会家庭紙部会においては、原油高、資原高の関係もあり内外格差を考慮しながら、東京協組の目標でもある第2段階の値戻しに期待している。

[品目別市況]

[家庭紙] 家庭紙は製品の価格修正の関係もあり操短をしているようだが、予定していた時期より遅れているようである。製品在庫は、大手メーカーはある程度持っているが小さいメーカーでは減少してきているようである。発生が悪いので、しばらくは価格修正を睨みながらの状況が続くのでは

ないかと思われる。

[段ボール] 段ボールについては、アメリカ物は為替レートの関係で価格が上がっている感じだがそんなには変わっていないのではないかと。中国は機械等の設備導入によるオーバーラップした生産になるのではないかと考えられる。3月は日本からの古紙の輸入が多かったため、今後の買い意欲は少ないのではないかとと思われる。

[新聞・雑誌] 発生が少なく価格も変わらないので大きな変化のない状況である。輸出に出す量にも限度がある。

[台紙] あまり変化はない。発生は減少している。

[オフィス古紙] 発生が少ない。機密類がまったく出てこない。

[集荷部]

集荷としては、もう一段の価格修正を期待している。発生が少ないので仕事も少なくなってきている。

[広報部]

広報は、5月号が総会後の6月中旬に送付予定である。総会の記事が中心となるが他に支部の総会の紹介、スケジュール等を提出してほしい。全原連の需給委員会で行われた海外研修についての記事も掲載予定である。

[事業部]

総会に向け総務部と協力して準備をすすめている。

[青年部]

5月の組合総会開催日の永年勤続表彰の時間帯に、青年部の総会を開催する。松井副理事長と宮崎集荷部長が出席する予定である。

[近代化推進事業委員会]

経営革新委員会：

古紙商品化適格事業所の更新を引続き猶予期間である6月までに手続きをしてほしい。

審議事項・・・古紙商品化適格事業所の更新（5

月分)の承認の件 2社2事業所 — 可決
 受給委員会：4月27日～5月4日に実施された
 海外研修について説明があった。(28日と29日
 にドイツの世界古紙会議に全原連として参加した
 等)

古紙センター関東地区委員会

[平成22年5月21日(金)] am10:30～

於)古紙センター会議室

[需要動向] 2010/4月 単位トン、

()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	71,958 (89.4%)
	出荷	73,336 (92.9%)
	在庫	10,293 (14.0%)
[雑誌]	仕入	64,632 (90.4%)
	出荷	66,371 (93.0%)
	在庫	11,074 (16.7%)
[段ボール]	仕入	128,967 (95.6%)
	出荷	135,808 (96.1%)
	在庫	18,962 (14.0%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	234,817 (99.2%)
	消費	225,299 (98.5%)
	在庫	146,632 (65.1%)
[雑誌]	入荷	129,939 (109.9%)
	消費	119,692 (103.9%)
	在庫	59,329 (49.6%)
[段ボール]	入荷	292,665 (108.1%)
	消費	310,110 (107.5%)
	在庫	89,799 (29.0%)

*業者側コメント(新聞・雑誌・段ボール)及び
 メーカー側コメントは省略。

古紙センター業務委員会

[平成22年5月21日(金)] pm1:30～

於)古紙センター会議室

- [1] 古紙回収推進事業について
- [2] 集団回収実施団体への感謝状交付(北海道地区委員会推薦)について
- [3] 古紙の需要・市況動向については、紙面の都合で割愛させていただきます

編集後記

広報部副部長 脇 克美

第54回通常総会も滞りなく閉会しました。詳細は巻頭のとおりですが、当日ご協力をいただいた組合員、理事の皆様、又、お忙しいなかお時間を割いていただきましたご来賓の皆様に大変感謝しております。

浅草の三社祭りも終わって、例年であれば初夏の日差しが眩しく、汗ばんでくる頃の筈ですが、朝、晩ともに肌寒く1カ月程季節が遅れているように感じます。桜も満開が長く続き楽しめましたが、寒くて夜桜見物には行く気になりませんでした。いつもなら5月の連休を利用して衣替えをするのですが、まだ冬物がしまえませんが、この広報が皆様のお手元に届く頃には初夏らしい青空が広がっていることと思いますが、何業にしても、「夏は暑く冬は寒く」が一番良いのではないのでしょうか。

広報部からのお願いですが、皆様からの原稿をお待ちしております。題材は古紙や組合にかぎらず、趣味の話、俳句、随筆等なんでもかまいません。ご家族や従業員の皆様からもお願いします。